

伝書鳩

教育長挨拶



那覇市教育委員会
教育長 山城 良嗣

那覇市青少年指導員連絡協議会 関係各位
眞喜志修会長をはじめ、役員ならびに青少年指導員の皆様方には、日頃から本市の子どもの非行防止活動にご尽力いただいていることに深く感謝を申し上げます。

さて、那覇市教育委員会教育相談課においては、平成28年度より新たにスタートさせた、自立支援教室「むぎほ学級」も開設から6年目となりました。貧困家庭の不登校等の児童生徒を対象とした「むぎほ学級」は、昨年度小中合わせて36件の支援活動を行っております。今後も、「きら星学級」とあわせて不登校等の児童生徒の居場所づくり、様々な体験活動を通しての社会的自立に向けた支援を行い、学校への登校復帰支援の更なる強化に取り組んでいく所存でございます。

本市では「帰りたい家」「行きたい学校」「住みたい地域」をスローガンに、早くお家へ帰ろう「GO家運動」も継続しております。こうした中、令和2年中の那覇市の「深夜はいかい」補導状況を見ると、前年比239人減の546人となっております。この数字は平成25年のピーク時と比べますと実に13,086人の減となっております。この減少した補導状況の背景には、青少年指導員の皆様の街頭指導による声かけが、「深夜はいかい」の未然防止につながった結果ではないかと考えております。どうぞ今後とも、非行の未然防止と早期対応に向けた取り組みとして、引き続き皆様のお力添えをよろしくお願い致します。

令和3年7月1日

発行
那覇市教育委員会
教育相談課
〒902-0064
那覇市寄宮
2-32-1
真和志庁舎
4階
TEL
098(832)7868
FAX
098(832)7869
青少年が「ゆるなは」
TEL
098(832)7867

那覇市青少年指導員連絡協議会 各中学校区 理事紹介

【首里地区】

首里中：古謝 克幸
城北中：舟浮 俊郎
石嶺中：上間 勝信

【本庁地区】

那覇中：高良 直子
上山中：渡慶次 全康
神原中：吉浜 辰美

【小禄地区】

小禄中：高良 清二
鏡原中：高良 善貢
金城中：大田 秀美

【真和志北地区】

安岡中：安里 喬之
真和志中：島袋 剛
松島中：金城 喜美代
松城中：新川 唯司

【真和志南地区】

石田中：大城 美智子
寄宮中：石川 静子
古蔵中：大城 百合子
仲井真中：新垣 邦夫

【コロナ禍で不安を抱える子ども達について】

子ども達について

昨年から続くコロナ禍で、沖縄では6月7日から緊急事態宣言が発令され6月8日、20日までの間、昨年4月に続き2回目の学校休業となり、緊急事態宣言は8月22日まで延長となりました。学校は再開しましたが、すぐに夏休みに入り、例年、長期休暇後には生活リズムの乱れや精神的不安などにより登校しづりや不登校が増える傾向にあります。それに加え、昨年から続くコロナ禍で子どもたちの精神的な不安が増えています。

不安に繋がる要因として考えられるのが学校にも家庭にも居場所がなく「孤立」している子どもたちが多いこと、また、自分に価値がない存在のように感じる「無価値観」を抱いて葛藤している子どもたちがいることです。この2つの要因がコロナ禍で、より深刻化していると専門家は言います。

学校生活では昨年から学校行事の数々が中止となり、給食時話も話さないように指導されるなど人間関係を育む機会が普段よりも少なくなっています。

【夏休みに向けての注意喚起】



毎年7月は、「青少年の非行・被害防止強化月間」となり、青少年による非行の未然防止に取り組んでいます。しかし、例年夏休みになると、生活習慣の乱れや深夜徘徊、喫煙・飲酒等の問題行動の増加が懸念されます。さらに、夏休み中に注意したい事として、水難・交通事故があげられます。今年も県内における水難事故が後を絶ちません。地域や家庭においても、事前の注意喚起や見かけた際の声かけが重要です。

街頭ポラリスは、臨時休業中も通常巡回を行いました。今年も、那覇市の中学生が奥武島(南城市)で飛び込みを行っているという情報があり、実際に何度か指導を行いました。子どもたちが飛び込みや遊泳をしていた危険箇所をお知らせします。地域の皆様にも気にかけていただき、多くの大人の目で子どもたちを見守っていきたく思います。

【主な気になる遊泳場所】

- 那覇クルーズターミナル
- 西洲(浦添市)
- 波の上人エビーチ
- 奥武島(南城市)

す。それに加え、マスクをしていることでお互いの表情が読み取りづらくなっています。そうした中で、もともと関係作りが苦手な子どもほど学校生活に馴染めず、孤立しています。家庭でも親のテレワークが増え、相談機関(子ども人権一〇番)からは「親がテレワークでずっと家に居て、暴言を受ける。」といった相談が増えている印象です」との声が聞かれました。また、コロナ禍で生活苦になった親がストレスを子どもに向けるケースもあるようです。子どもたちも休業期間中は自粛のため家庭で過ごす時間が増え、エネルギー発散の場が減りストレスを溜め込んでいることで精神的に不安定に繋がっていることも考えられます。

相談機関の方は「子どもたちは親が抱える不安、自分自身が抱える不安やストレスで自分を責める方向に行く場合がある」と言います。

こうした子どもたちのSOSに気づき、向き合うのに何より大切なのは「子どもとの信頼関係を築くこと」です。もし、周囲にいる子どもたちのSOSをキャッチした場合、専門家の方たちは「TALKの原則」で接して欲しいと話します。最後に「TALKの原則」を紹介いたします。(参考資料：NHKニュース記事)

- Tell:**言葉に出して心配していることを伝える。
- Ask:**「死にたい」という気持ちについて率直に尋ねる。
- Listen:**絶望的な気持ちを傾聴する。
- Keep safe:**安全を確保する。

お知らせ

次回の青少年指導員連絡会・研修会は令和3年11月17日(水)に行います。開催時間と場所につきましては、追って連絡致します。当日ご参加の際は、駐車場の数に限りがありますので、可能な限り公共交通機関をご利用くださいますようお願い致します。



7~11月の行事予定	
7月16日(金)	県民一斉行動 夜間街頭指導 全中学校区中止
9月17日(金)	那覇地区中学校陸上競技大会
10月9~11日(土~月)	那覇大綱挽まつり コロナの影響により中止
11月3日(日)	琉球王朝祭り首里特別街頭指導(未定)
11月17日(水)	第3回青少年指導員連絡会・研修会